



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側
受賞企業紹介

第2回 チャレンジ部門 グランプリ 受賞

京焼・清水焼を、文化やニーズに合わせ 海外・国内・陶芸プロ向けの3ブランドを立ち上げる



ブランド名
「器」に新風を
新ブランド展開による持続可能な清水焼を

代表取締役
奥村 謙介



株式会社奥村企画

京都市山科区川田清水焼団地町6番地2
コーポきよみず103
☎ 075-354-6000
<https://kyoto-okumura.co.jp/>
<https://fuuu-utsuwa.jp>

プロフィール

大学卒業後、東京にて大手ゼネコンに就職。約5年半のサラリーマン生活の後、現会長（父親）が創業した和装小物製造卸の会社に入社。和装業界の低迷に危機感を感じ2009年ごろに輸出事業部を立ち上げ、京都をはじめ日本各地の産品を輸出販売する。主にアジア圏での物産展、展示会など行政と連携した事業も展開し、持続可能な工芸をキーワードに清水焼の製造に乗り出す。

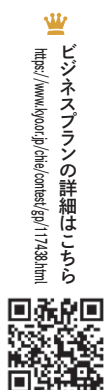
京都には便利で快適な伝統工芸品が生活の中に溢れています。これを海外に伝えようと、輸出事業をスタートしたのが、私の挑戦の始まりです。

10年以上の海外マーケティングで、文化や求められる製品の違いを知りました。例えば、日本の湯呑セットは5個が一般的ですが、中国では6個が良いこと。色、絵、サイズ、蓋の有る無し……さまざまな違いがあります。そこで海外向け陶器ブランド「京焼・清水焼 陶謙窯」を2021年に立ち上げました。中国の売り場で得た情報をもとに、すぐに自社工房で新たな形を生み出せる点が強みです。海外向けの定番品はこの春節に合わせて計画を進めています。

京焼・清水焼は豪華で高級なイメージですが、それを払拭して、日本の若い人にも受け入れてもらえるように、国内向けブランド「fuuu」も立ち上げました。日常使いしやすいシンプルな器に仕上げています。こ

わりは、手を使わなくてもしっかり布地をひくことですね。先日、初めてfuuuの商品を清水焼の郷まつりに出品したところ、予想を大幅に超え、在庫がなくなるほど人気で嬉しい限りでした。いいモノを提供している、という自信につながっています。

また、陶芸に従事する方向けにろくろの素地（生地）ブランドを立ち上げました。産地を超え日本全国の作家、窯元向けに絵付けや加飾を施す前の京焼・清水焼の素地（生地）を提供することで、日本の陶芸業界の分業を下支えし貢献していくことが目標です。弊社では、これらの事業を通して職人が将来設計できる、社会人として成長できる、そんな環境を目指しており、それがものづくり・伝統産業を持続させていく一助になればと思っています。



ビジネスプランの詳細はこちら
<https://www.kyoto-gift.com/17183.html>

本所が実施している京都知恵産業フェアにご参画いただいております。2月の東京ギフト・ショーにご出展されます。専門家と支援員による効果的な展示の魅せ方、出展後の営業活動に関するサポートをすることで「京焼・清水焼 fuuu」の国内販路開拓を応援します！

京商からの支援